

滋賀県近江八幡市立沖島小学校の ドキュメンタリービデオ制作



DATA

●主な連携先・メンバー

近江八幡市立沖島小学校、同校児童のみなさん、および同校PTAのみなさん／関西大学 総合情報学部岡田朋之ゼミ 沖島チーム

●活動地域

滋賀県近江八幡市

●活動資金

総合情報学部実験実習材料費（撮影資材など）

活動の目的

- 1 淡水湖の中の離島としては日本で唯一の有人島である島の小学校に、島外から通う児童と、その保護者たちに焦点を当て、その学校と島の魅力を解き明かす
- 2 ドキュメンタリー映像制作を通じた地域情報の収集と発信能力の醸成

連携にいたる経緯

学生側のメンバーの一人の従弟が沖島小学校に通う児童であることをきっかけに、同校への関心を深め、映像作品を通じて広く紹介しようと考えた。そこで制作意図について学校側や保護者の方々に説明したところ、取材への快諾が得られた。

活動内容

沖島小学校に通う子どもたちの学校での日々を映像に納め、その保護者たち、そして小学校の先生方、それぞれの視点から、離島の小学校の魅力を語ってもらった。完成した映像作品は、2017年度「地方の時代」映像祭の「市民・学生・自治体部門」に応募した。



活動の成果

- 1 出品した2017年度「地方の時代」映像祭で一次審査を通過し、映像祭にて上映
- 2 具体的な映像作品を出品し、専門家の評価によるフィードバックが得られたことで、スキルの向上に大きく貢献した
- 3 児童の保護者や学校の意向に近い形で映像表現を具体化できた

今後の課題・目標

- 1 メディア発信における「演出」の意義を踏まえ、より効果的なやり方を考える
- 2 取材対象との信頼関係構築
- 3 映像の制作発信におけるワークフローの明確化

●教員紹介



総合情報学部 教授 岡田 朋之(おかだ ともゆき)

専門はメディア論。情報メディアの革新が人々の日常生活とどう関わっていくかについて、主に携帯電話やスマートフォンなどのモバイルコミュニケーションの変化から研究している。ゼミでは「メディアをつくる、社会を考える」をテーマに置き、メディアやイベント等の制作を踏まえて社会の問題を考察することを課している。